

日本学術会議  
情報学委員会 国際サイエンスデータ分科会  
(第 25 期・第 4 回)  
議事要旨

開催日時 令和 5 年 2 月 1 3 日 (金) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 1 0

開催場所 ビデオ会議

出席者 村山委員長、井上副委員長、芦野幹事、近藤幹事、有田、家森、植田、榎、  
小関、永崎、春山、藤井、宮崎の各委員

欠席者 相澤委員

出席 1 3 名 (定足数 8 名)

参考人 金尾政紀・大学共同利用機関法人情報・システム研究機構データサイエンス  
共同利用基盤施設・准教授  
大武美保子・国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター認知  
行動支援技術チーム・チームリーダー

## 議事概要

### 1. 前回議事要旨の確認

村山委員長より資料 1 に基づいて説明があり、議事要旨を確認した。

## 2. WDS 活動概要報告

家森委員より資料2に基づいて説明があり、意見交換を行なった。International Data Week イベント中の SciDataCon (CODATA・WDS 合同国際会議) へのセッション提案については注意深く行う必要があるとのコメント、また NICT からテネシー大学へ移った WDS-IPO (国際事務局) の活動や、設置憲章 (Constitution)、内規 (ByLaws) の改正が行われたこと、などが報告された。

## 3. DSWS-2023 の開催について

金尾参考人より資料3-1~3-3に基づいて説明があり、質疑を経て、当分科会が会議主催団体の一つに入ることを了承した。同様な会議としては今回が第4回目で、ROIS、NICT、学術会議、WDS からサポートを受けること、会期は2023年12月11-15日(を予定していること、場所は主に日本学術会議講堂であること(ハイブリッド形式想定)などが報告された。現在、ISC 役員に日本学術会議から2名入っていることから、当会議でもご挨拶頂くなど検討してはどうか等のコメントがあった。

## 4. CODATA 活動概要報告

芦野幹事より資料4に基づいて説明があり、大武参考人から Creative Living and Aging Working Group の立ち上げと活動について報告があった。International Data Week における SciDataCon セッション提案時の望ましいあり方などについての意見交換を行なった。

## 5. CODATA 総会への代表派遣について

芦野幹事から推薦があり、10月のCODATA総会に井上副委員長を代表派遣することを了承した。

## 6. 本分科会の今後の活動について

村山委員長から資料5に基づいて分科会の成り立ちと機能に関する説明と論点提示があり、今後の分科会のあり方について意見交換を行なった。本分科会と他のオープンサイエンス関連活動との関わり、本分科会の貢献などについて質問があり、村山委員長や有田委員がG7科学技術大臣会合下のオープンサイエンスWGに直接貢献していること等が報告された。また、委員間で、CODATA/WDSをはじめとする国際アカデミーの議論を国内へうまくトランスファーすることの重要性、種々のオープンサイエンスの議論を行う分科会等が分散しているが日本学術会議が学術の基礎としてこれを取扱う構造をもつことも重要ではないかとの問いかけ、国際対応分科会としての議論と国内のオープンサイエンスの議論の両方がバランスをとって行われることの重要性、さらに現状、日学の複数の委員会・分科会でオープンサイエンスや研究データ問題の議論がされつつあるがグランドデザインが見えづらく全体像がわかりにくいこと・ここだけで頑張っても全体の改善が必要ではないか、などの意見交換が行われた。重要な論点につき、情報共有と意見交換を継続することとなった。

## 7. 関連国内外集会・提言について

村山委員長から画面共有資料に基づいて、3月開催予定のWDS国内シンポジウムについて案内があった。また、大武参考人から意思の表出について質問があり、今期は間に合わないものの、次期に向けて検討することとなった。

## 8. その他

芦野幹事から口頭説明に基づいて求めがあり、CODATA執行委員会の次期委員推薦にあたって、人選をCODATA小委員会に一任することを了承した。

(次回開催時期は未定)

以上